



サイエンスグローブ

数学科のサイエンスグローブを、お昼休みに開催します！

講義の「数学」とは違った面も見られるかもしれません。

ドリンクやパンも用意しますので、皆さん どうぞ気軽にのぞいてください。

日時：2019年11月11日 (月) 12:10-12:50

会場：高等教育推進機構 E214 教室

講師：吉永 正彦

テーマ：多面体を切って貼って切って貼って

概要：人類は昔から多面体に心惹かれてきました。例えば正多面体が「4面体」「6面体」「8面体」「12面体」「20面体」の5種類しかないことは2000年以上前に証明されました。しかしながら多面体に対する「自由な」数学的研究が始まったのは比較的最近（19世紀）です。

最初の問題の一つは「正4面体の形のチーズをナイフで切って貼りなおして立方体にできるだろうか？」こんな素朴な疑問でした。

これまで多面体について何がわかったのか？まだ何がわかっていないのか？短い時間ですが多面体について現代の観点から紹介してみたいと思います。



♪ リラックスした雰囲気楽しんでください ♪

